



にじいろ通信 No.62

発行：社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在：埼玉県行田市忍 1-11-1
TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
責任者：にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL:nijihiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、障害特性のある子どもたちに日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

新年度は賑やかにスタートしました。

安全で安心できるにじいろを目指しています。

「なんでもやるぞー」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子
春爛漫の温かい日差しを感じながら、心弾む4月を迎えました。新年度がスタートし、にじいろは新しい利用児童が10名増えました。毎年この時期は、慣れずに泣いてしまったり、楽しすぎて駆け回ったり、激しいコミュニケーションを求めたり、自分をアピールする子どもたちの明るく元気な声が響きます。進級した児童の成長を感じるのもまた、この時期です。もちろん体も大きくなりましたが、年度代わりでの環境の変化への対応力も増し、不安も多いだろうという私たちの心配をよそに、大変落ち着いているところか、新入生を意識してお兄さんお姉さんパワーを見せてくれています。そんな子どもたちの成長を後押し出来るように、今年度も、にじいろでは子どもたち



須加小学校の校庭にお邪魔して遊ぶことが多くなりました。広い校庭を走ったり、遊具遊びを思い切り楽しんでます♪



4/20 穴あきクイズに真剣な表情で参加する子どもたち。画面に映し出された物は何でしょう？答えは回答用紙に記入します。難しいよ～ヒントが欲しいよ～。

に様々な事を体験してもらいたいと思います。

毎週欠かさず見ている番組で、所ジョージさんが言っていました。「子どものうちはなんでもやるんだよ。できないことでもやるんだよ。怪我もするけど。大人になるとそういうのが向いてないから、やっても無駄だとか、やらなくなっちゃう、だからつまらない。ステップを踏むだけでいい」と。さりげない言葉ですが子どものうちの経験は大切だと太鼓判をもらった気がします。私たちは、なるべくなら嬉しい、楽しい、出来たという成功体験を積み重ねて欲しいけれど、経験が増えれば失敗も増えるし、失敗に伴った悲しい辛いなどの思いも増えます。それを含めて経験したことが、その子どもだけの自分の尺度を作っていくのかなと思います。なんでも挑戦してみよう！やってみよう！



ブランコを大きくこぐことが出来て嬉しい♪すごいな～僕もこげるようになりたい！



砂場で大きなお山を作ってトンネルを掘ったよ!!手がつながったら大成功。



4/15 こいのぼりのちぎり絵を行いました。手で細かくちぎるのが意外に難しいのです。だんだん上手いなくなりました。いろんな色で貼り付けました。



使った後のグラウンド整備もしっかり行っています。小さくても力強い助っ人です。

- ★5月の主な予定 3日・4日：アウトドアランチ「カレーを作って食べよう」 5日：にじいろシアター 6日～：母の日プレゼント製作 16日：実験「ブラックライトの不思議」 25日：的あてゲーム 27日：簡単プログラミング遊び 30日：梅雨オーナメント作り
- ★にじいろで欲しいもの レゴブロック ぶら下がり健康器 ミニカー 絵本 パズル等
- ★ありがとうございました 長谷川様、井上様、櫻井様：お菓子